

自身のための六編の日記 青春って、僕たちって？

ある。その差段の反対は読者の半端に待たない。

それに対するひとつの答えが……ここにある。

青春とは何だ！高校生とは何だ！これがこの企画の出発点である。

This high-contrast, black-and-white photograph depicts a large-scale military or paramilitary parade. The scene is filled with rows of individuals in dark uniforms, many of whom appear to be wearing hats or caps. The perspective is from a low angle, looking up at the vast assembly of marchers. The image is characterized by its stark contrast between the dark figures and the bright, featureless sky above, creating a dramatic and somewhat somber atmosphere. The grainy texture and high contrast suggest the photo is a reproduction of an older print or negative.

今、ほくは
何をすれば
いいのだ
J.H.

、Nの家へ行ってひと三人でだった。七時半から十二時子のことから始まって、自らがつたよくなど思つた。こんなことを話をす時聞がもっとあれば……あと一年でいい……自分の道がもつとはつきりしそうな気がする。

久しぶりに充実した時間だった。彼らは真剣に考えている。他の連中と話してゐる時のように“議論を楽しむ”なべて感じがしなく“抽象的”なことしか言つたけど……。

でも、高二のころに比べれば、Nの家へ行つてひと三人でだった。七時半から十二時子のことから始まって、自らがつたよくなど思つた。こんなことを話をす時聞がもっとあれば……あと一年でいい……自分の道がもつとはつきりしそうな気がする。

久しぶりに充実した時間だった。彼らは真剣に考えている。他の連中と話してゐる時のように“議論を楽しむ”なべて感じがしなく“抽象的”なことしか言つたけど……。

く、本当に悩み、考へるような気がする。“精神主義”と妥協が友人に求めている。悩みをぶつち合い一緒に進んだ。僕は再び、もとの道だ。僕はいい友だちだ。

世界に友愛革命を

のま、やっぱり「性欲」を抜きにしては考えられない」という言葉を思い出した。たしかにそうかも知れない。異性に対して「性欲」を感じるのはやはり当然かもしれない。だが、性欲によるつき合いが長く続くか……。お互いをぶつけることのないつき合いならば、ある程度は続くかもしれないが、やっぱり相手の内の「人間」を好きにならなければ、長続きはしないのではないだろうか。

人間ばれは理性的な論理はないのか。僕にしても例外なく、たしかに、自分の種の欲望があるのを否認できないのが……。それでも、今、僕がつきいる人たちに対しても、この「人間」とつき合っておりだ。もし「性欲」の対象として意識しているのなら、自ヤになって、とっくの昔

から今までに見てきた現実そして今までに読んできた乏しい読書体験から判断してみると、現在考えられる社会のうちでは社会主義社会が一番人間が人間に暮らせる社会のよつた気がするからだ。しかし僕にはまだ、それを強力に主張できるだけの確信と根拠がない。僕はわりにも現実の社会に対して認識不足だし、また理論の面でもまた資本論の一冊を読んでいない青二才だからだ。

立つ
大學というのは何をするところ
なのだろう。人は何を求めて大學
に行こうとしているのだろう。全
然わからない。僕はマルクス主義
の研究をしに行く。僕が生まれて
このうねばかり先に立つのぢ
のところ櫻には何ひとつ
いないではないか。社会
具体的にどう直すの
世の中が悪い？ いつたいど
う悪い？ なんだか間違
の研究をしに行く。僕が生まれて

嘘つけ、ほんとほなにもほい
なんて思っちゃいないんだ。あ
あ、勇気と誠実さえあれば、
結局僕はナルシスト。自分が一
番可愛いのです。實際のところ可
愛がったところで何の役にも立た
ないものを一番可愛感じる。
ひどい怠け者だ。性りもなく昨
晩も、のんべんだりとテレビと
読書。時間があれば日記を書く
が、書くこといつも決まってる。
「勉強ばかりしてられますか」
いよいよ僕は寝る。本格的な怠
け者。

馬ルクス主義は、社会主義
なんて思っちゃいないんだ。あ
に正しいものなのか――
日本の社会は今、どうう
あるのか――それを
をしよう。マルクス主義
たら、またの前のよう
の社会を知りもしないで、
に理想論ばかり言つて……
われるかもしれない。そ
やしいが、自分の甘ちっ
こうを指摘されると本当
なるものなあ。

十一月十三日

「人は理想を持たなければ
ない。信念をもたねばな
い。僕の理想は自己の人間形態
の改革と人類の……」

信用あるお店で安心したお買物を

マエダ

イリキ眼鏡店 高知ハリマヤ町 電②0998番

米沢サンゴ店

ヒフ病薬 新薬は
はりまや 薬局
はりまや橋四国銀行本店前 T E L ②2665

皆様の—— お帽子の店

元田帽子店

高知市帯屋町18 電話 ② 8600・8601

特集

政治

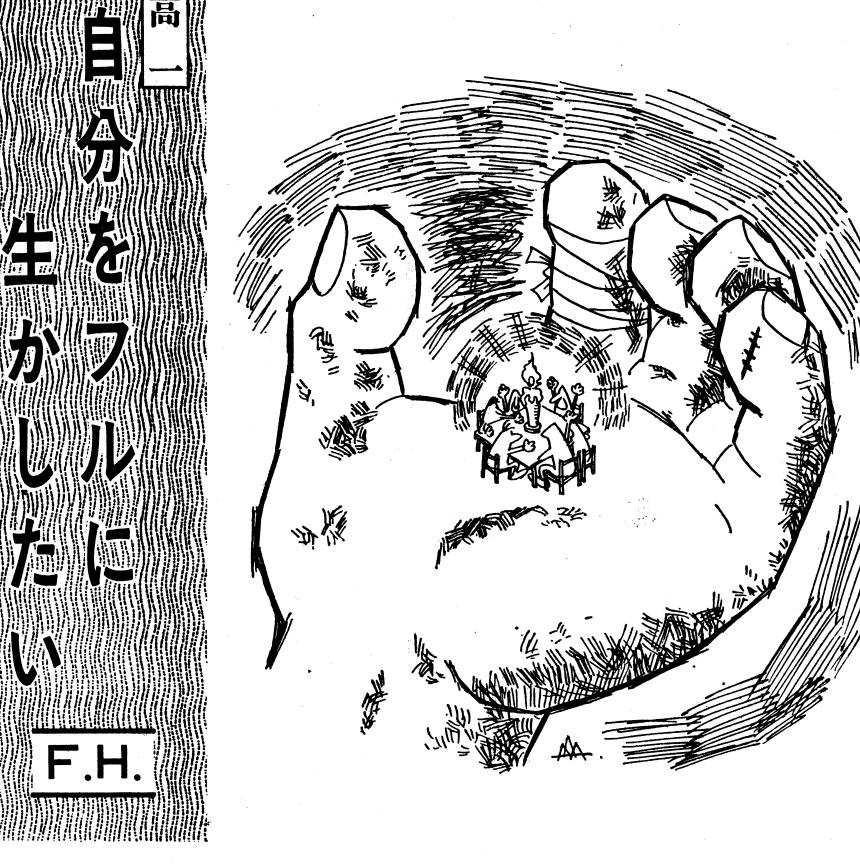
お世辞にも言えない。
しかし我々は自信をもって君に伝えよう。
君のそばにこんなことを考へている土佐高生
がいるのだと。

なお四面には日記の作者を問んでの座談会
「我々はなぜ大学へ行くか」五面には六人の
日記を読んでの批評、を掲載した。

(日記は十一月三日~十三日にわたって書
いてあらったものである。)

なあ四面には日記の作者を問んでの座談会
「我々はなぜ大学へ行くか」五面には六人の
日記を読んでの批評、を掲載した。

(日記は十一月三日~十三日にわたって書
いてあらったものである。)



F.H.

権利のはきちがえ



十一月六日(月)

先日部屋で舞い入ったのは

結局死んでしまったけれども

せめて手あつ病でやろうと丁

度に包裝した後火葬に処した

やはり、いつ寝ぼけない。

とにかく、がんなんでも

車の運転で

十一月七日(火)

同じ電車になった。名前は知ら

いけれど、妙に似たる子だ。土

佐中学三年といつて

るまではわ

かくとも

車の運転で

十一月八日(水)

国会議事堂前で焼身自殺をか

けた

相の繋ぎを止してやる

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

十一月九日(木)

年賀状の製作振りかかる。今

ままでつむじがかかる

る。二十センチ四方らしい紙

のたが、あけてひらく、畳六

たたみをうが、自分の命をうが

る。それだけの金があれば、

それが金で、自分の命をうが

る。その金で、自分の命をうが

十一月十日(金)

年賀白のねも

しろい組組が運んでいるんだか

うえでまる

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

る

十一月十一日(土)

國會議事堂前で

焼身自殺をか

けた

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

た

十一月十二日(日)

年賀白のねも

おも

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

う

十一月十三日(月)

年賀白のねも

おも

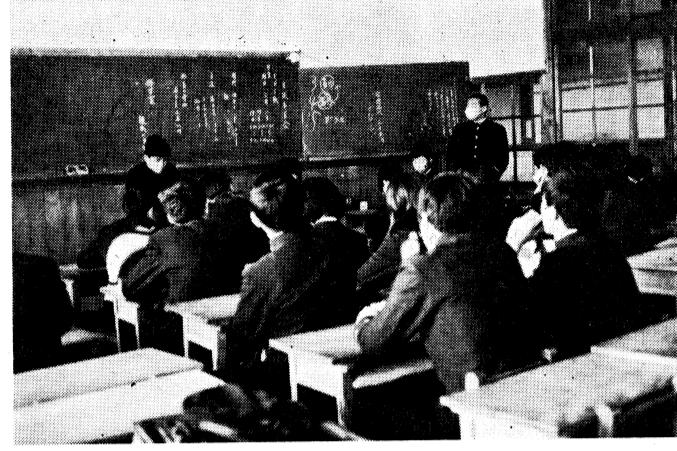
考えよう生徒会

必要か生徒委員会

解決できない三つの問題

△アンケートの対象は、各学年二クラスとした

委員会をやつて一体何になるのだろう?
「委員会は必要なのだろうか」
「大学はどうなる?」
悩みは深刻である……



スナップ

(注・生徒委員会は委員会と略す。執行部ではない)

一月八日 三学期はじめの生徒会の日である。開会式で、五分間に委員は皆定数に不足しない。心配の議論に

委員会も決してやる気はない。

議長「もう十分待つてや。今日は

とても興がんといいたい」と

委員「はあ流してやる気はない」と

十二月七日 今日は会の日。ある

席の委員が話す。「来るがやなった

生徒会がやうたうるさいね」と

香川「なぜね……今週中に結論

長野恭一(三T)

大原悟(三H)

山野上光枝(3S)

横田修一(3T)

横田信広(3K)

杉本薰(3T)

井上晶博(1S)

山岡伸一(1O)

山口俊一(3K)

井上好美(3K)

井上昌也(3K)

井上義典(3K)

井上行夫(3K)

井上行夫(3K)

やないか。委員が全然意見を言わないよ。委員会は委員会ではなく、生徒自治ができるところのかな?」

委員会をやつて一体何になるのだろう?

「委員会は必要なのだろうか」

「大学はどうなる?」

悩みは深刻である……

「シネマ化している。これはもつてのないことではなかろうか。だれも眞面目をかえって、それが何よりも重要な問題をとっている。最近の社会は自分で何か創造する力はない。おちるともあればおちると思う。おちるともあればおちるばかりになるかも知れない。」

ぱらりとなる。

「生徒会が面白くない。クラスに議題をもつておこなうべきだ。でも、それは決して、そのままでしておけないはずだ。」

「もう一つは高校生の見習い。生徒会に「今のはまき満足する」。」

「最近の社会は自分で何か創造する力はない。おちるともあればおちるばかりになるかも知れない。」

「生徒会も執行部も本校はもつてのない。」

「委員会になつたんだから思つて、本校全体が無能力だ。」

「生徒会は面白くない。」

「これが何よりも重要な問題をとっている。」

「生徒会は面白くない。」

「

